



# 名護高校だより

2018年 2月 28日

第18号

校長 大城 健

## 明日、名護高校「第73回卒業式」

「光陰矢の如し」3年生の皆さんにとってはまさにこの言葉が胸中をよぎるのではないのでしょうか。3年間を頑張った清々しさと、母校を去る寂しさと、いろいろな思いがあることでしょう。卒業生の保護者の皆様、本当におめでとうございます。皆様の支えがあって生徒達は明日の卒業式を迎えることができます。心より感謝申し上げます。また同窓会、後援会、地域の皆様、これまでのご支援、ご協力、誠にありがとうございました。



さて、今年の卒業生はまさに新生名護高校1期生と呼べる学年でした。これまでの伝統ある学生服・セーラー服から、スーツ・プレザーの新しい制服へ。また県立高校編成整備計画により北部地区の学力向上と国立大学進学者増を目指したフロンティア科の設置。そして校舎の改築事業も始まりました。卒業生は見事に期待に応え、先輩方から継承した文武両道を実践し、学業も、部活動その他の活動も、全てにすばらしい実績を残してくれました。

今年の3年生が選定した「卒業の歌」は『3月9日』です。「瞳を閉じれば、あなたの姿が浮かんでいきます。そのことがどれだけ私を勇気づけたことか。あなたにとって私もそうでありたい。」仲間を大切にす 73 期生にピッタリの歌を選んでくれました。明日は、きっと感動的な卒業式になると思います。明日は 73 期生にとって名護高校での最後の日になるとともに、名護高校にとっては、さらなる飛躍発展のスタートの日になります。2年生、1年生、頑張りましょう！

## 県教育委員会研究指定校「国際理解教育」研究発表会



2/13(火)、平成 28・29 年度2年間の「国際理解教育」研究発表会が本校で行われました。これまで本校の取り組みについては「名護高校だより」でも紹介してきましたが、大隅大先生を研究主任として、全職員で関わって取り組んできました。生徒の海外渡航の推進、海外高校生との交流、講演会の実施をはじめ、各教科、部活動、委員会活動でも取り組み、生徒達の国際理解に対する意識、海外渡航への意欲を高めることができたと思います。この2(他校の先生方も参加)年間で、本校生徒ののべ 200 名以上が海外体験を行っております。今後とも取り組みを継続し、生徒達の国際理解に対する意識を高めていきたい思います。これがきっと生徒達の将来の生き方にもつながるものと考えております。研究発表会には県教育庁県立学校教育課から仲宗根勝班長、伊志嶺周主事が出席され、あたたかいご指導、ご助言、激励をいただきました。

## JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト学校賞

JICA 企画のエッセイコンテストに、本校生徒が積極的に応募した結果、昨年度に引き続き2年連続で「学校賞」に輝きました。当日は、はるばる JICA 沖縄国際センターの河崎充良所長が来校され、賞状とメダルを頂きました。また1年の山入端真桜さんが「JICA 沖縄国際センター所長賞」、金城ほのかさんが「沖縄県青年海外協力協会会長賞」の表彰を受けました。



### 「国際理解教育講演会」講師：西野嘉憲氏(フリーランスカメラマン)

授賞式前の総合学習で講演会を実施しました。講師は大阪府出身で石垣市 (校長← 河崎所長) 在住の西野嘉憲(よしのり)氏。西野さんは主に漁業、狩猟など、人と自然の関わりをテーマに撮影著作されている方です。国際社会における食文化など、多くのことを考えさせてくれる内容でした。

## 九州大会結果報告！



☆男女バレーボール部は、2/10(土)名護市で開催された九州大会に出場しました。両チームとも残念ながら予選リーグで敗退しましたが、九州の代表チームと互角に戦い、今後につながる貴重な経験となりました。特に女子は全国制覇した東九州龍谷高校(大分)との試合も頑張りました。

☆ラグビー部は、2/18(土)佐賀県で開催された1回戦、大分東明高校に 15-34 で惜敗しました。前半固い動きでしたが、後半は随所に名護高らしい好プレーを見せてくれました。



## 高校入試期間、1・2年生 自宅学習しっかり！

保護者宛公文も配布しておりますが、3/6(火)～ 3/12(月)は高校入試に伴う自宅学習期間となります。1・2年生は学習にしっかり取り組むように。ご家庭でのご指導よろしくお願いいたします。